

(別紙様式)

(A3判横)

令和3年度 学校自己評価システムシート (県立川口北高等学校)

目指す学校像	知性と教養を身に付けるとともに、高い志と品格を備え、互いに高め合い敬意協力し合う、日本及び国際社会の進展に貢献する生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 自ら勉学に真摯に取り組む姿勢により学力の向上を図る。 2 満足度の高い生徒全員の進路希望の実現を図る。 3 文武両道の校風を堅持し、学業及び体力、精神力の充実を図る。 4 家庭、地域、小中学校との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

※コロナ感染防止対策で紙面開催

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 8 日 現 在)				学 校 関 係 者 評 価
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>アクティブ・ラーニングとICT活用が別々に取り組まれている。両者の融合を図り、より効果的な授業を研究する必要がある。</p> <p>GIGAスクール構想により、情報端末の導入、授業での活用、個人情報の蓄積、校務支援等を進めてきたが、BYOD回線が有効に活用されていない現状である。生徒の個人端末を校内でいかに有効活用できるかを検討すると同時に、生徒用個人PC等の入学時全員購入も検討する必要がある。</p> <p>ループリック作成など学習評価の研究を行い、令和4年度からの新しい指導要録の様式変更に伴う準備を進める必要がある。</p> <p>総合的な探究の時間を有効に活用し、グローバル人材の育成を目指すと共に、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する必要がある。</p>	<p>○予習・授業・復習の黄金サイクルによる学力向上支援</p> <p>○主体性を持って学ぶ態度を育成する。</p> <p>○教員の教科指導力向上に関する取組</p> <p>○教員と生徒のICT活用環境の充実。</p>	<p>①ICT活用の研修会の実施、様々な情報の共有</p> <p>②教員授業公開の企画・運営と授業研究会の実施</p> <p>③観点別評価の研究</p> <p>④自学自習オリエンテーション等を通じて、徹底して自ら計画的に学習する習慣を定着させる。</p> <p>⑤SDGsなどをテーマとして姉妹校などとのオンライン交流</p>	<p>①アクティブ・ラーニングとICT活用のベストミックス等、授業での効果的なICT活用に関する研究が組織的かつ実践的に進められたか。</p> <p>②授業公開・研修会を通し授業力向上に繋がる情報交換が行えたか。</p> <p>③新しい指導要録の様式変更に伴う準備ができたか</p> <p>④自ら計画的に学習する習慣を定着させることができたか。</p> <p>⑤国際交流を推進し、オンライン交流することができたか。</p>	<p>①1年へのタブレット導入に向け年間を通してプロジェクトチームを組織し、年間12回の情報交換会議を実施。ICT活用に係る研修会を3回実施した。</p> <p>②授業見学者は73名。11月に授業力向上研修会を実施し意見交換をした。</p> <p>③観点別評価研修会を11月に実施し、指導要録の変更の準備を行った。</p> <p>④2月に2年生が自学自習オリエンテーションを実施。計画的学習習慣の動機付けをした。</p> <p>⑤オーストラリア教育研修が中止となるなか、オンラインでタイの大学生との文化交流を2回行った。</p>	A	<p>iPadの1年導入を受け、授業での活用、校務支援などの研究を重ねるとともに、教科内、他教科間の授業観察と意見交換の機会を増やし、授業力向上に努める。</p> <p>三観点評価と評定について、校務支援システムへの導入を教育情報部と連携し、円滑に進められるようにする。</p>	<p>ICT活用に全校で積極的に取り組み、学力向上に向け積極的に取り組んでいる様子を頼もしく思う。</p> <p>学校教育に関するアンケート結果として、「授業がわかりやすい」の回答率が83%となっており、現在の取り組みが生徒のやる気を育て、学習習慣の育成に結びついている。観点別評価についても研修を深めており、今後とも生徒が主体的で質の高い学びを身に付けられるよう取り組んでいただきたい。</p>
2	<p>昨年度は国公立61名合格(現役52名)のうち、旧帝大の東北大、名古屋大の合格者が出ただけでなく、希望する私立大学に受からなくとも、全科目を生かした地方国公立大で大学院を見据え、進学する生徒も多くいた。生徒の選択の幅を狭めることなく、生徒に高い志を持たせ、適時に進路意識を高揚させる機会をつくるだけでなく、丁寧に面談し個に対応することが必要である。</p>	<p>○高い志を持たせ進路意識を高めるため、難関大セミナーや補講を改善・充実させる。</p> <p>○意識の下がりやすい時期に二者面談を実施し、生徒を易きに流さず、粘り強く努力することを全力で支援する。</p>	<p>①難関大セミナー等の工夫と改善</p> <p>②生徒との二者面談・三者面談で生徒と保護者と情報共有</p> <p>③教員対象入試説明会や予備校主催の入試研究会の参加で情報収集</p> <p>④4回実施する受験校検討会</p> <p>⑤毎月の学年団目録合わせシート</p>	<p>①国公立・私立難関大学の受験者数</p> <p>②生徒・保護者との面談回数</p> <p>③教員入試説明会や入試研究会の参加回数</p> <p>④生徒と担任、進路指導部及び学年団との情報交換の状況</p> <p>⑤目録合わせシート発行回数</p>	<p>①国公立出願者189名</p> <p>②コロナ禍で分散登校期間もあったが、オンラインによる面談などを複数回行い情報共有を行った。</p> <p>③入試説明会4回参加</p> <p>④ICTを活用し受験校検討会を4回実施。</p> <p>⑤3年8回、1・2年5回目録合わせシートを発行し、学年内の情報共有を行った。</p>	A	<p>担任を通じて丁寧な進路指導を行うことができた。</p> <p>コロナ禍でオンラインによる集会が多く、団体戦としての入試意識高揚が難しかった。次年度は内容や方法を十分検討することが課題である。</p>	<p>コロナ禍に対応してオンラインで面談をするなど、生徒や課程に寄り添い、向き合う適切で丁寧な進路指導が行われていることに敬意を表する。今後とも生徒の夢の実現のために更なる指導をお願いしたい。</p>
3	<p>社会的な自己指導能力の育成の観点を中心に「凡事徹底、奮励努力、威風堂々」を心掛け、真摯な態度で学習、部活動、学校行事に臨むことを継続的に指導する。</p> <p>学校全体は落ち着いており、授業に臨む姿勢も概ね良いと思われるが、服装頭髪や遅刻に関しては継続的にきめ細やかな指導が必要である。「知性あふれる明るい挨拶」を励行する。</p> <p>スマートフォン使用におけるルールやマナー、インターネットの危険性などについて今後も指導を徹底する必要がある。</p> <p>生徒会活動は、自主自立という観点から高い水準にあり、充実している。引き続き自ら考えて行動する力が増すような活動の意識付けをしていく。</p>	<p>○積極的な生徒指導の推進</p> <p>○安全指導の徹底</p> <p>○自主的な生徒会活動の育成</p> <p>○近隣住民や中学校との交流の促進</p>	<p>①朝の立哨指導</p> <p>②8時15分登校の励行、授業時のチャイム着席の励行</p> <p>③各学年による遅刻指導及び服装頭髪指導</p> <p>④担任による日々の指導、学年集会、全校集会等での指導</p> <p>⑤スマートフォン使用に関するルール、マナーの徹底及び情報モラルに関する指導</p> <p>⑥通学時の交通安全意識を高める。</p> <p>⑦生徒会本部役員の自主的な活動</p> <p>⑧近隣住民や中学校、他校との交流会の実施</p>	<p>①各学年による朝の遅刻指導を受けた生徒数</p> <p>②全学年の年間遅刻総数500回以内</p> <p>③頭髪服装指導を受けた生徒数</p> <p>④生徒に関する情報交換件数や年間の指導案件数と内容</p> <p>⑤スマートフォンの使用に関するルールの作成</p> <p>⑥交通事故の件数と内容</p> <p>⑦定例会での発言の質</p> <p>⑧近隣住民や中学校との交流会の内容</p>	<p>①遅刻指導を受けた生徒数：1年2名、2年4名、3年10名の計16名であった。</p> <p>②全学年合計657回と目標達成はできなかったが前年度より118名減となった。</p> <p>③頭髪指導数：全学年で0名。</p> <p>④指導部会、学年会、企画委員会を通じて生徒情報を交換し共有した。指導案件数0件</p> <p>⑤情報モラル指導を全学年で実施。被害件数0件</p> <p>⑥自転車同士の接触など登下校中の軽微な交通事故数件。</p> <p>⑦⑧ 生徒会役員は他者に働きかける発言も増え、自覚がでてきている。地域や中学校との交流会は、コロナ禍のため実施できなかった。</p>	B	<p>朝の立哨指導、朝の挨拶・声かけなど粘り強く継続的に指導することで、遅刻数や登校マナーへの苦情を減らすことができた。継続して通学路の徹底、自転車乗車マナーの指導が必要である。</p> <p>コロナ対策を含め、北高祭の質的向上を目指すとともに、地域や中学校との自主的で主体的な交流を目指す。</p>	<p>生徒と協力が一体となって、進学校としての学力向上だけでなく、部活動にも熱心に取り組む、質の高い文武両道を体現し、人間力の向上が図られている事に敬意を表する。</p> <p>「凡事徹底、奮励努力、威風堂々」を体現した生徒達の育成に向け、自信を持ってご指導いただきたい。</p> <p>日常的に積極的な生活指導も推進されており、遅刻指導を受けた生徒数が118名原となっているなど、丁寧な指導が効果を上げていると感じている。</p>
4	<p>文武両道の進学校としての地位を確立すべく授業公開、学校説明会などで積極的にPRと広報活動に努め、継続していく。特に近隣であり在校生の多い川口市、さいたま市浦和地区を重点地域として強化する。加えて、近隣の進路実績、部活動の実績、教育活動の充実、本校の教育活動の在り方等を一層明確に広めていく。中学生や地域の方々のニーズを把握し、学校説明会は企画・運営の見直し、内容の改善と充実を図る。</p> <p>HPは中学校とその保護者へ向けた情報発信の場としてますます重要性が増しつつある。</p> <p>普段の清掃時の取り組みは概ね良好である。更に「ゴミを拾うのもボランティア」の考えのもと、生徒一人一人に美化活動に対する意識を高めさせたい。</p> <p>本年度の理事は128名であり、PTAが活動しやすい環境を作り、より多くの会員が参加していくよう内容の充実を図り活動の活性化を目指す。</p>	<p>○学校説明会等の広報行事の開催と全校体制の構築</p> <p>○HPの更新を頻繁に行う</p> <p>○環境美化の推進</p> <p>○常任理事会80%以上、理事会60%以上の出席率を目指す</p>	<p>①学校案内の充実</p> <p>②進学フェアの参加、学校説明会、個別説明会、中学校訪問、学校見学など広報活動に関係分掌と連携した全校体制での取り組み</p> <p>③説明会アンケートなどを利用した現状の把握</p> <p>④KAWAKITAキャンパス通信やHPでの学校の情報を積極的に発信</p> <p>⑤土曜授業の公開</p> <p>⑥学習ボランティアや部活動の指導補助を通じて、小中学校との交流を推進</p> <p>⑦部活動顧問にHPへの記入を促し、古い記事がないか等チェックする。</p> <p>⑧教職員が率先して清掃活動に取り組む意識を持ち、生徒と共に環境美化に努める。</p> <p>⑨理事会、常任委員会、各事業部会をより充実した会にするよう工夫し、出席率を高める。</p>	<p>①受験生ファーストの学校案内が作成できたか。</p> <p>②広報活動に全校体制で取り組めたか。</p> <p>③アンケートを活用できたか。</p> <p>④KAWAKITAキャンパス通信やHPの更新回数、内容の向上は図れたか。</p> <p>⑤土曜授業の参観者は増えたか。</p> <p>⑥小中学校との交流を行えたか。また、交流の幅は広がったか。</p> <p>⑦各部の部紹介や部NEWSの記入数が増えたのか、古い記事の更新がされたのか。</p> <p>⑧清掃状況</p> <p>⑨理事会、常任委員会及び各事業部会の出席率は上がったか。</p>	<p>①「学び続ける3年間」として内容を刷新した。</p> <p>②③④4回の学校説明会、3日間の部活動体験見学会、HPの内容一新、中学校・塾訪問、キャンパス通信発行12回など、全校体制で取り組めた。</p> <p>⑤土曜授業参観者数は大幅に増加し、受付での説明、施設見学など丁寧に行った。</p> <p>⑥コロナ禍で制限されたが、小学生への科学教室の実施、中学校への出前授業を実施した。</p> <p>⑧川北セーフティラインの徹底を図り、清掃時も手洗い、消毒を行い感染予防に努めた。</p> <p>⑨コロナ禍により、対面での委員会活動は行わず、リモートによる開催にとどまった。</p>	A	<p>HPの刷新、全校体制での学校説明会への取り組み等により、昨年度より志願者倍率を上げることができた。</p> <p>中学生や保護者へのアンケートの実施など、広く意見を募り、受験生の心をつかむ学校案内や説明会の方法改善を検討していく。</p> <p>近隣の小中学校との交流を積極的に進め、広報活動の一つと位置づけ、マスコミにもアピールしていく。</p>	<p>保護者と生徒に対し、「学校生活に関するアンケート」を実施し、保護者や生徒からの率直な意見や感想、改善に向けた指摘を把握し、エビデンスに基づく教育改善を図っていることが評価できる。</p> <p>コロナ禍で活動が制限されたことが残念だが、生徒や教職員が地域活動に積極的に参加し、近隣の小中学校との連携を深め、川口北高の教育の良さをアピールしてほしいと思う。PRの時代にあって、自校の「売り」を明確にすること、新しいものだけでなく、伝統や既存の事例を再発掘し、効果的にアピールし、「魅せ方」を工夫することも今後必要であると考える。</p>